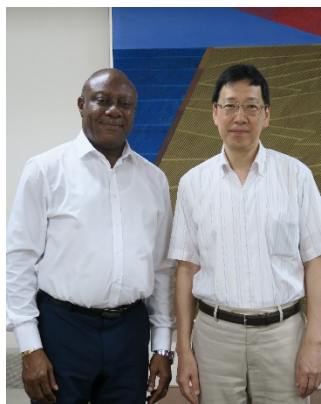


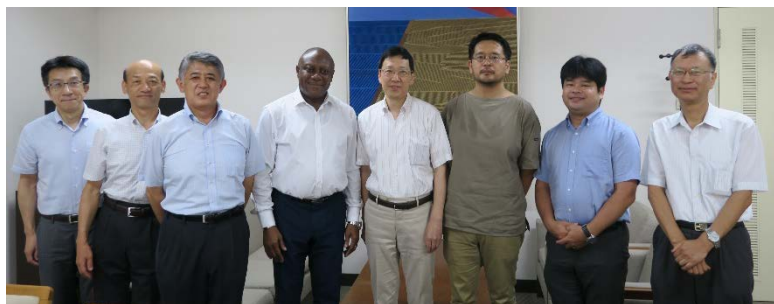
アフリカ稲センター(AfricaRice)所長のハロルド・ロイ・マコリ博士が本研究科を訪問されました(2019年9月2日-3日)



ロイ・マコリ博士と研究科長



ロイ・マコリ博士による講演



表敬訪問での集合写真
研究科長の両脇は
ロイ・マコリ博士と齋藤
AfricaRice研究員

アフリカ稲センター(AfricaRice)は、CGIAR(国際農業研究協議グループ)傘下の研究センターのひとつで、汎アフリカ研究機関であり、本部はコートジボワールのアビジャンにあります。当該センターは強力な科学技術と実効的な国際協力を通して、アフリカの土地に適したイネの品種開発・普及を行い、アフリカの人々の生計改善を目指しています。AfricaRiceの所長であるハロルド・ロイ・マコリ博士は、2019年8月28日—30日、パシフィコ横浜(横浜市)で開催された第7回アフリカ開発会議(TICAD7)出席の後、本研究科を表敬訪問されるとともに、大学院生対象の集中講義をされました(9月2日-3日)。そして、農学国際教育研究センター(ICREA)公開セミナーで「The Value of Integrated Agricultural Research for Development: the case of Africa」と題して講演され、聴衆の注目を集めました(9月3日)。